

下座也又控々同席、結果收書ハ銀座、辭
令ヲ返食ストテ放置シ午後一時幸退食シタリ
会社ニ於テハ九月十日ノ函日出勤シタリ
ハ特ニ一日ニ屬シ賃金ヲ給スル者ヲ指示シ
テ出勤ヲ督勵シ一方監督ヲ以テ突進ノ速克
ヲナシ九月ノ夜ノ如キハ四十名ノ賛賛ヲ會
社内ニ宿泊セシメ翌朝ヨリ復業セシメ既業同
トノ連絡ヲ絶テ裏面ヨリ團結ノ切實ニ努メタ
ル結果九月ヨリ十日午前申迄ニ加盟ヲ脱退シ
タリ元ノ十名ニ及ビ據事止支障ナキヲ信タリ、
全日午後七時頃東京電気工組合本お新吉外敷
急集業同ノ集會所ニ集テ全時ニ賛信給テ盟主
幸松恩刻吉及赤松克廣ノ兩名ニ奉命シ後思ハ

慰問ノ挨拶トシテ激勵的口演ヲ為シ次ノ下控
々打合ヲ為シ交渉専員ヲ選定シ翌十一日全專
員ハ改メテ会社ト交渉ヲ為スコト、シ既環係
ハ全十時半頃退場セルカ帰途東京電気工組合
員ハ豫メ用意シ来レル会社ノ攻撃ト罷業員ノ
團結ヲ促シタル書寫印刷物ヲ電車内ニ於テ車
掌運轉手ニ配布シタルモ何等及響ナ見ス
解決
然ルニ罷業幹部ハ日本幣兩銘全盟ニ應援ヲ求
ムル以前ニ於テ日本交迎辯論組合ノ中五件五
助ニ當リ解決方ヲ修載セル由ニテ十日ノ夜中
西ハ會社ヲ訪ヒ石田運輸課長ト會見今回ノ争
議ハ業論場俵若側ノ敗北ナリカ多少罷業若側